

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策
 (2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化
 (2) 災害関連情報の予測、収集・集積

緊急消防援助隊の車両・資機材の整備により、広域的な消防防災体制を充実強化する（全国）

事業者：総務省消防庁

緊急消防援助隊の車両・資機材の整備イメージ

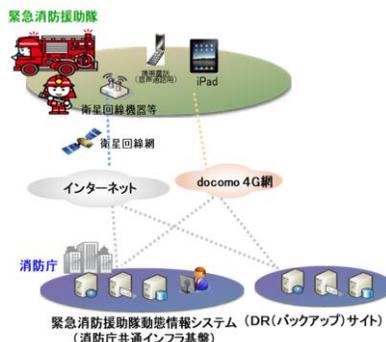
【拠点機能形成車】



【特別高度工作車】



【緊急消防援助隊動態管理システム】



【情報収集活動用ドローン】



対策名：35 大規模災害等緊急消防援助隊充実強化対策

主たる施策グループ：2-1) 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足



事業名：緊急消防援助隊の車両・資機材の整備

- ポイント**
- 緊急消防援助隊の車両・資機材を整備
 - 緊急消防援助隊の災害対応能力が向上し、災害時により多くの要救助者を救助することが可能

地域の概要・課題

近年、激甚化・頻発化する土砂・風水害や切迫化する南海トラフ地震などの大規模災害等に備えるには、質及び量の充実による、緊急消防援助隊の対応力強化は喫緊の課題でした。そのために、車両及び資器材の配備により、被害状況を早期に把握するための国と地方自治体の情報共有体制の強化、新型コロナウイルス感染症対策を講じた応援力の強化など、大規模災害時の広域的な消防防災体制の充実強化を図る必要があります。

事業の概要

緊急消防援助隊の車両・資機材の整備を行い、災害対応能力の向上を図っています。

中長期の目標：110車両・資機材程度

見込まれる効果

緊急消防援助隊動態情報システムを更新することにより、国と地方自治体の情報共有体制の強化が図られ、関係機関において、被害状況を早期に把握することができます。

大規模災害時の活動時において、新型コロナウイルス感染症対策を講じた拠点機能形成車等の現地配備や、車両及び資機材の活用により、広域的な消防防災体制の充実強化を図ることで、より多くの要救助者等の救助活動等を迅速かつ効果的に行うための、緊急消防援助隊の活動体制を確保することが可能となりました。

施策名	目標値 (R3~R7)	実績値 (R3~R5)
拠点機能形成車	10式	8式
情報収集活動用ドローン	37式	37式
映像伝送装置	54式	31式
緊急消防援助隊動態情報システム更改	1式	1式
特別高度工作車	12式	12式